環境経営レポート 2022

田村技研工業株式会社

活動期間:2022年4月~2023年3月

認証登録番号:0001342

認証登録範囲:精密部品加工・組立

http://www.t-giken.jp

発行日:2023年6月17日



目次

1.組織の概要……3~4 2.環境経営方針……5 3.環境組織図……6 4.取組内容と環境目標・・・・・・7~8 5.実績と評価・・・・・・9~10 6.評価と次年度の計画・・・・・11~12 7. 環境活動報告……13~15 8.環境関連法規、遵守状況……16 9.代表者による全体の見直し及び記録・・16

組織の概要①

【会社の概要】

事業所名:田村技研工業株式会社代表取締役社長 田村 昌樹

所在地:〒997-1122

山形県鶴岡市友江字川向20-8

TEL:0235-33-0063 FAX:0235-33-0835

e-mail:info@t-giken.jp

URL: http://www.t-giken.jp

設立:1989年4月

環境管理責任者:田村 晴佳

事業内容:精密部品加工及び組立

(精密部品加工)

真空機器製造装置部品 半導体製造装置部品 自動車関連製造設備備品 電子·電機産業装置部品 一般省力機器装置部品



組織の概要②

事業規模:資本金1,000万

社員数:39人

社屋床面積:1,800㎡

事業年度:4月~3月

認証登録範囲:(本社工場)田村技研工業株式会社

精密部品加工及び組立

環境レポートの対象期間:2022年4月1日~2023年3月31日

環境レポートの発行日:2023年6月17日



「環境経営方針」

I.環境経営理念

地球環境の保全を重要課題とし、生物多様性の保全、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会の形成に向け、 豊かな社会と環境の実現を目指し継続的に地球環境保護に貢献する企業活動を推進していきます。

- Ⅱ.基本方針: 当社は、環境経営理念に基づいて以下の項目に重点をおいて営むものとする。
- 1.企業活動において環境影響を調査、評価し、環境目標を定めて改善を行い、環境管理システムの継続的改善を 推進します。
- 2.企業活動に関わる全ての資源、エネルギー消費や廃棄物等排出による環境負荷の低減を常に意識し、環境 関連法の遵守はもとより、省資源・省エネルギー分別によるリサイクル・リユース活動を推進します。
- 3.化学物質管理の徹底をはかり、環境に配慮した製品作りと管理システムの継続的改善を推進します。
- 4.環境保全及び社会貢献活動に取組むと共に、全従業員の環境教育に取組み、環境に対する意識の向上を 図ります。
- 5.地域社会やお取引先等、共に環境・連携協力関係を構築し、積極的な環境コミュニケーションを実践します。

2015年10月01日制定 2020年4月1日改定 2022年1月5日改訂 田村技研工業株式会社 代表取締役社長 田村 昌樹

環境組織図

	田村技研工第	美株式会社 エコ	アクション21 耳	又組 組織体	│ 本制図 2	2022年4.	∮∼		NO.TG_EA0
			経営者 代表取締役社長 田村 昌樹	\Rightarrow	3.経営資源	方針の制定 システムと環			
1.環境目的 2.環境経営:	境経営システムの構築・運 ・目標一覧表の策定の推進 登録文書の作成 レポートの作成		環境管理責任者 田村 晴佳		5.経営にお	ける課題とチ	マンスを整理	し明確にする	
受割】環境経営システムの維持・管 8門別(役割分担)環境目標・目的の身 も歩管理		環境事務局 渡部陽子 佐藤淳 佐藤朋子 大瀧亮平			<u>食会計</u> 力晴佳	\Rightarrow	1.環境に関 2.環境資源	環境会計・集計 する会計業務 及び廃棄物量の集 スト発行管理	計及びまとめ
リサイクル推進 産業廃棄物(キリコ)削減 村井優彌	リサイクル推進 産業廃棄物(廃油)削減 小林拓哉	<u>リサイクル推進</u> 一般廃棄物削減 鈴木菜美子	省工ネ推進 電力削減 斎藤智靖	灯油・水	ネ推進 < <u>資源削減</u> <計量之	事務用	·推進 紙削減 理紗	環境負荷の 温室効果ガン 笠井雅ノ	ス <u>削減</u>
			部門の環境目的・目標の3 環境経営プログラムの実行						

取組内容と環境目標①

項目	取組内容	2022年度目標	2023年度目標	中長期目標
一般廃棄物 リサイクル推進	・分別の徹底 ・再利用化の推進 ・ゴミ置き場の見直し・ 清掃	リサイクル率 81%	リサイクル率 82%	2026年までに年平均リサイクル率84%達成
産業廃棄物 リサイクル推進 (金属屑・廃プラ)	・廃棄物置き場の改善と清掃・分別の徹底、混ざり防止・現状の問題点の改善	キリコ(混ざり物) 年10,000kg以下 リサイクル率 85% (金 属) ※2020年度見直し (5年連続不達成のため)	キリコ(混ざり物) 年10,000kg以下 リサイクル率 85% (金 属)	2023年度~2025年度までリサイクル率85%達成キリコ(混ざり物)年10,000kg以下 3年連続達成
産業廃棄物 リサイクル推進 (廃油)	・廃油廃棄時のルール 見直し ・油流出防止の徹底 ・啓蒙活動	リサイクル率 58% ※2020年度見直し (機械2台増設による調整のた め)	リサイクル率 50% ※2023年度見直し (油性切削油使用機械の減少のため)	2026年までに年平均リサイクル率55%達成 (2022年度比)
電力使用量の削減	・使用管理の徹底 ・クールビズ推進 ・エアー漏れ確認 ・コンプレッサー使用改善	太陽光発電稼働開始の年のため、集計の年としました。	前年度比 1%削減	2026年までに使用料3% 削減達成 (2022年度比)
灯油使用量の 削減	・使用管理の徹底 ・ウォームビズ推進 ・啓蒙活動	前年度比 2%削減	前年度比 1%削減 ※2023年度見直し (人員増のため)	2026年までに使用料3% 削減達成 (2022年度比)

取組内容と環境目標②

項目	取組内容	2022年度目標	2023年度目標	中長期目標
水資源使用量の削減	・節水の呼びかけ・水漏れ点検	前年度比 2%削減	前年度比 1%削減 ※2023年度見直し(人員 増のため)	2026年までに使用 料3%削減達成 (2022年度比)
事務用紙の削減	・裏紙使用の推進 ・ペーパーレス化の推進 ・ミスコピー、ミスプリント防 止の 呼びかけ	前年度比 1%削減	前年度比 1%削減	2026年までに使用 料3%削減達成 (2022年度比)
温室効果ガス排出量 の削減(製造不良に よる増加排出量算 出)	・製造不良削減活動 ・講習会の実施 ・啓蒙活動	前年度比 5%削減	前年度比 3%削減 ※2023年度見直し(3年連 続不達成のため)	2026年までに不良 実績5%削減 (2022年度比)
地域環境活動への 参加及び環境保全 活動への参加	・地域の環境保全・環境保全活動参加と従業員 教育実施	年2回の実施	年2回の実施	

実績と評価-①~実績一覧表~

重点目	目標(重点項目)	2022年度実績(4月~2023/3月)	二酸化炭素排出係数	二酸化炭素排出量 (4月~2023/3月)
	一般廃棄物リサイクルの推進	総廃棄量:1,750kg	-	-
リサイクルの推進	産業廃棄物リサイクルの推進 (金属屑・廃プラ・廃油)	総廃棄量:30,567kg		-
	電力使用量の削減	電力使用量: 626,608Kwh (內太陽光発電使用量84,823Kwh	0.556(kg-CO ₂ /kwh) (伊藤忠エネクスH ₂ 9実績) 0.523(kg-CO ₂ /kwh) (東北電力H ₃ 0実績)	255,346kg-CO ₂
省エネルギーの	灯油の管理	16,075L	0.0679	40,599kg-CO ₂
推進	ガソリンの管理	2,482L	0.0671	5,758kg-CO ₂
	水資源の管理	386m²	-	-
	事務用紙の削減活動	156,441枚	-	-
環境負荷の低減	温室効果ガス排出量の削減 (製造不良による増加排出量算出)	25,885Kg-CO2	-	25,885Kg-CO2
地域社会への 貢献活動の実施	地域環境活動への参加及び環境保 全活動団体への参加	年2回ゴミ拾い実施	-	-

実績と評価-2~評価一覧表~

項目	2022年度目標	2022年度結果	評価
一般廃棄物リサイクル推進	リサイクル率81%	リサイクル率83.4%	0
産業廃棄物リサイクル推進 (金属屑・廃プラ)	リサイクル率85%	リサイクル率46.7%	×
産業廃棄物リサイクル推進 (廃油)	リサイクル率57%	リサイクル率39.0%	×
電力使用量の削減	太陽光発電設置のため2022年度1年間は集計の年としました		
灯油使用量の削減	前年度比2%削減	1.3%增加	×
水資源使用量の削減	前年度比2%削減	18.8%增加	×
事務用紙の削減	前年度比1%削減	3.4%削減	0
温室効果ガス排出量の削減 (製造不良による増加排出量算出)	前年度比5%削減	56.3%增加	×
地域環境活動への参加及び 環境保全活動への参加	年2回の実施	年2回の実施	0

評価と次年度の計画-①

一般廃棄物

目標: リサイクル率81% **結果: リサイクル率83.4%**

評価

目標達成となりました。日頃の啓蒙活動などが社員に行きわたっている結果かと思います。また、ゴミ箱周辺に分別一覧表などを設置し、すぐに参照できる点も、分別強化につながっていると思います。引き続きの活動をお願いします。

次年度の計画

活動継続をお願いします。

順調に目標達成していることに伴い、目標を1%引き上げるとともに、中長期目標として2026年までにリサイクル率84%達成を掲げます。

灯 油

目標:前年度比2%削減 結果:前年度比1.3%削減

評価

目標不達成となりました。

しかし目標まであとわずかなところまできています。 特に工場内はLOW運転の心がけが見えます、ご協力あ りがとうございます。

次年度の計画

人員増に伴い、目標1%ダウンとします。 狙えない目標ではないかと思いますので引き続き活動を よろしくお願いします。

産業廃棄物(キリコ・廃プラ)

目標: リサイクル率85% 結果: リサイクル率46.7%

評価

目標クリアとなりませんでした。

前年度に引き続き、啓蒙活動など回収以外の活動 がほとんど見られなかったのが残念です。心がけ一つ で変わるかと思いますのでぜひお願いします。

次年度の計画

来年度も引き続き同じ目標値にて活動お願いします。キリコ回収だけが活動ではありませんので啓蒙活動等もしてくださるよう、お願いします。

水資源

目標:前年度比2%削減 結果:前年度比18.8%増加

評価

目標クリアとなりませんでした。

その原因として、今年度も水溶性切削油を使用する機械2台が導入されたためと思われます。そのあたりは担当者がどうこうできるものではないので、節水の啓蒙活動など出来るところをしっかり行ってください。

次年度の計画

人員増、また、水溶性切削油使用マシン増絶のため、 目標を1%ダウンに設定します。引き続き啓蒙活動など よろしくお願いします。

産業廃棄物(廃油)

目標: リサイクル率57% 結果: リサイクル率39.0%

評価

目標達成となりませんでした。油性マシンが減少したことから、リサイクルが難しくなったことも要因としてあげられます。油流出対策をしている姿も見えますので、引き続きよろしくお願いします。

次年度の計画

現在の活動を維持し、啓蒙活動等、しっかり行ってください。

事務用紙

目標:前年度比1%削減 結果:前年度比3.4%削減

評価

目標達成となりました。昨年より裏紙使用率が増え、その分上質紙の使用量も減ったのかと思います。 地道な活動ありがとつございます。

次年度の計画

基本的は活動内容は継続しつつ、裏紙使用の呼びかけやミスコピー等を減らす啓蒙活動なども重点的に行っていってください。

<u>11</u>

評価と次年度の計画-②

温室効果ガス(製造不良による増加排出量算出

目標:前年比5%削減 **結果:前年度比56.3%増加**

評価

目標達成となりませんでした。しかし、毎月何らかの活動をしており、着実に進んでいると思います。 小さなことをコツコツとの姿勢がすばらしいです。引き続きよろしくお願いします。

次年度の活動

3年連続不達成のため、見直しをします。ぜひ今後も毎月の活動を継続してもらうようよろしくお願いします。

電力

目標:前年比1%削減 結果:前年度比29.2%増加

評価

増加となり、不達成となりました。しかし、前年度より売上が大幅増となったための、仕方がない結果だったと思います。他の活動同様、小さなことでもかまいませんので自分たちのできる活動を期待します。

次年度の計画

次年度は太陽光発電設置、稼働があります。そのため 目標値等を考え直す必要があるので、データを集める年 にします。

地域貢献

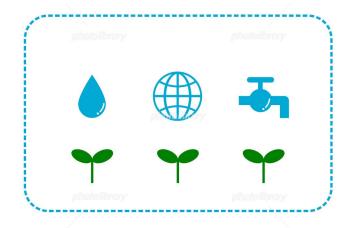
目標:地域環境活動への参加 環境保全活動団体への参加 年2回

評価

年2回のゴミ拾いを実施することができました。

次年度の活動

引き続き活動を行います。



環境活動報告① 春・秋(年2回)ゴミ拾い

全社員で地域のゴミ拾い

2022年度は清々しい青空のもと、清掃活動をおこなうことができました。地域の環境づくりも大切にしていきます。







環境活動報告② 現場窓へ遮光カーテン設置

日陰を作り少しでも涼しくなるよう、遮光カーテンを設置しました☆

環境に優しく、光熱費も削減です!







環境活動報告③ 太陽光発電設置

会社の取組ではありますが、太陽光発電を設置しました☆ カーボンニュートラルな生産活動に向け、一歩前進です!





環境関連法規遵守状況

【環境関連法規への違反及び訴訟等の有無】

当社の環境関連法規への違反はありません。 尚、環境当局よりの違反等の指摘は過去3年以上ありません。

[当社の環境関連法規]

- ①廃棄物処理法 ②下水道法 ③消防法 ④騒音規制法 ⑤振動法
- ⑥フロン排出抑制法

上記関連法規の確認及び点検を2022年4月15日と2023年3月30日に 実施し、問題ありませんでした。

代表者による全体の見直し及び記録

今年度はほとんどの活動で未達成となりました。機械増設の影響もあるかとおもいますが、数年連続不達成の項目もあり、来年度は目標値の見直しも必要になってきたかと思います。しかし、声掛けや勉強会実施などの啓蒙活動をこまめにしているところはきちんと成果がでており、意識ひとつで変わることも多くあります。業務的な活動だけではなく、もう一歩進んだ活動に期待します。

コロナも終息の兆しが見え、生産活動も活発になってきました。それに伴い、使用量も増加してきます。そういう時こそより一層努力し、少しでも多く環境負荷の低減を目指しましょう。 その他の環境活動も含め、無駄な消費を更に抑制し、効率的業務を推進してまいります。

«環境負荷軽減のために»

- ☆ "ゴミ0を目指して"一般廃棄物/産業廃棄物の分別を積極的に行い、リサイクル・リユースにつとめる。
- ☆電力・水資源・灯油等、適量適切な使用を心がける。
- ☆加工品質改善の取組強化で無駄なエネルギーが出ないようにする。